は平の方便、百の手段を請ぜざるべからご 喚起せざるものわらんや宜しくあれか為に

は、實、最人類の幸福を増進するにわら 也、子が韓國市数に對しての方法なるも ば北岸邦否保護職の狀態に於て哀愍の情を の荷くも人類幸福の増殖を以て已乃任とせ 世の暴傷は国族でなり居也、佛教家たるも

、放育の傳播を把り、左手刀主と握り警察の人任を帶びて承れる佛教家は、右手に普

衛生の勿請に附せられたる邦國に布数

思人に韓国の如き教育の普及せざ

(4

しては京釜郷道の開通せしに止まり、未だ 然るに見る幹頭現時の狀態は物質的文明と

普及の城に連せず、

精神的数化山脂以上累

(中部十分产40人用数型 中部分数 数据三年

道鐵

車列

表制符号

密三院勿

關律胡然 五九九九

五五四二六

五五五四五五二六一六

老便新 ラ

一動八

往

木館園

₩E: 世帯の関する

伊深永常

统川间至

る。

七七七 照点(CP 転列会)

美風新 足離 江毛津村

ままし

成體天 數山安

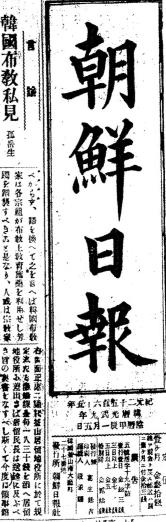
軍會水( 浦 場谷原/

一方。

もとという。三三一八九〇六

彼方にも島

冲车



等丘 | 六百五十二元紀 年 九 武 光 樹 樓 日五月一辰甲曆隆

發竹所 朝鮮日報社

国際大震和 (1) 金数拾銭 (1) 金数拾銭 (1) 金数拾銭 (1) 金数拾銭 (1) 金数拾銭 (1) 金数 (1) 金 なる古都のわれに對して吟情を残らす事が なる古都のわれに對して吟情を残らず事が なる古都のわれに對して吟情を残らす事が と捉へている事は出來の、併し何物かい图

はあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 でおいたな、 にはあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 はあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 はあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 はあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 はあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 はあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 はあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 はあれ、質かの友の孤獨を執むものはあれ、 しめたか、総合病を慰めらる上家親の盛要、 地に僕を聞いたい割ち料剤上の幸福を住せ であった。

雜 報

着を垂れて瞑想に耽ける 着を垂れて瞑想に耽ける 西騎兵の 梅草 銳

村は土神に大の花(主)

で、たったと記述してゐる面との時 対であつたと記述してゐる面との時 女であつたと記述してゐる面とのは 知れたのでよつた、他自田は母娘を がという。「他自田は母娘を であったと記述してゐる面とのは のは这一世良田の胸の中に残ってカ

あの様な

老僧の語 しの調子に乗ると誰とても議員の度を取り話すのが終せの話である、而し些客もはな 宗教家に對して経々普通の事柄を であるけれど。

た西班牙の老僧である。

を叩いたものがある、他でもない前に云つ

ものですから」

が好い工夫があります、私も南の方に行くと作業常に困りてお出の様子ですが、私を信ぎない。

さんでする傾向あるは、

健手を駆け

外なりといるあるも、子は之を関牙に持く

喉はつまつた様である、豊公廟畔、市井の

警務顧

悶を蹈襲すべるあと是なり、人或は信教家 家は各宗祖が布数上教育施薬を利用せし芳 が教育に從事志施樂を為すを以て其任務以

が弘毅の為めの手段として教育施樂を利用 するは人類の幸福を増進し適性利民の本分 るの價なさものとなす。何となれば接数家 韓國布教私見

孤后生

我が佛教家以来て韓國に鋭意布教をな

東京本自にわらず、地に家を具して以てな

野様に見せんとす、と人恐んで之と聴け。

8) 1.

の非ホー、

况んや現今世界の趨勢は轉た数

是歌あるや、見よ彼の物質的文明の好馬た 家をして此等の事業に從はしめんとすると

釜山領夷

事館。調

查。

稚

第五條 本契約の別様に対する時代本契約解除の必要と生きる時は相互協等工條 本契約解除の必要と生きる時は相互協議の後ち大日本職代表書の別様と対する中である。

本世段田は振り返って自分の手を関しく代える。 信の育にかけたが、末だ傷の歌らない足を 老品 野の倒さうとした。 世段田は振り倒さうとした。 老世段田に使をバストルスまで連れて行って かい

せで連れて行のて

九年三月二日

內務大臣

敗傷汚行の緊急を随伴するに

ては何れの完を間はず、線て数家の天職と

して不言實行以て著明なる好成蹟を示せ

か又廣島愛媛将経下の漁夫等る選海漁業を必らくは大分山口南縣下の資棚漁夫ならんのと約七八十年前のとにて其先鋒としては朝鮮海に本邦人が出版を試みたらは今を距

はない上のて此恐ろしい剣を敷布風、下上でででででなったのであるさはなして財せた時に老った。 情は気み上のて此恐ろしい剣を敷布風、下上で作つたのであるさはなして閉せた時に老った。 でしたのであるさはなして関せた時に老った。 でなのに、となるとしなりて関せた時に老った。 でしてのであるさはなして別せた時に老った。 でしてのであるさはなして別せた時に老った。 でしてのであるさはなして別せた時に老った。 できしている。 は、まだはし、「見るのも恐ろしいと云ってて、見るのも恐ろしいと云って、

-69-

## こと違つておるのではない、それよ山賊の之を違つておるのではない、それよ山賊の に手縄を握らせたのであれずる説明かせて続くに 老 東合せられれる 特別 配達募集 朝鮮日報社

玄界の離る はされか 底知れれ、 拾貳萬尺 社が ( ) を成し出づれば ( ) を成し出づれば ( ) 海の熱が ( ) 海の熱色 ( ) 海の熱色 ( ) 海の熱色 ( ) アイド ( ) ア 海州後、窓は高し 神田の街 居気樓のこで 神田の街 居気樓のこで かは通る、駅門の瀬戸 新らしきだった。 玄以新 征途に上る健見を乗せし 穳 亦 九山重 宋式 (神) 沐 

では、ことでは、 ことでは、 こ の為め滞後中なる全社主なる全女史は倉庫

列行政 **诗数出廊**旗

率安始永野 清 登 場賽與浦名

`F'

歲平舊振島

六五五五五。 〇三二一〇 七〇四三五

美內島惠全 教豆 江板兒里義

學伊沃维太 川院川着田

型型三三二。 -○三二五 九二九四○

たえた。 カカスペース リニーカーの エニーカーの を若 島東京 市本山東京 市本山東京

された。 ルミーニ四 ルニーエの

密檢清慶

)〇九九八 二五四三 -〇九〇五

東華

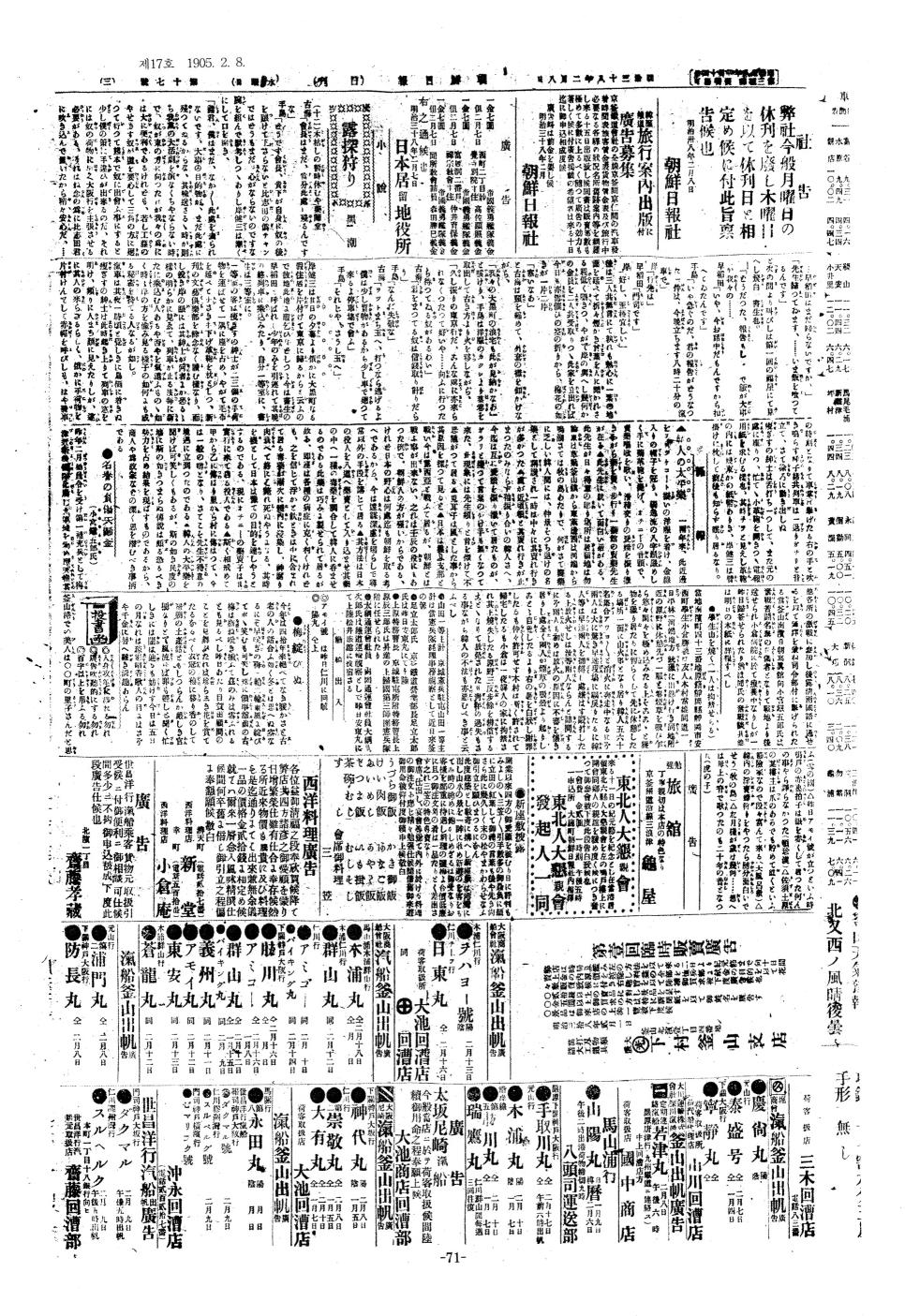
相場に明

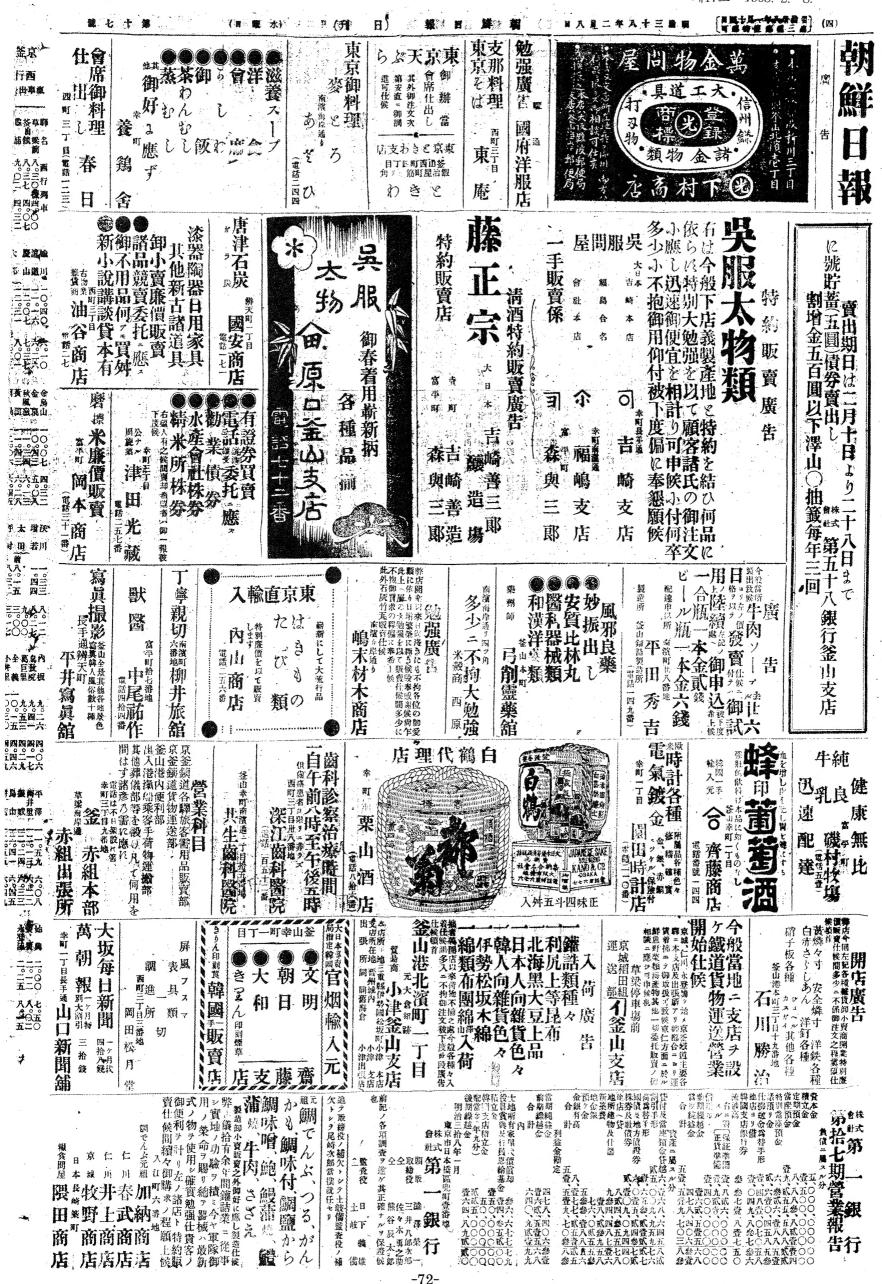
十七割六分五里

年中絶ゆるあとなる天然痘の豫防策として

老山戶意象日

-70-





-72-